

目次

第1章

戦略の策定にあたって

1	生物多様性地域戦略策定の背景	2
	(1) 生物多様性とは	2
	(2) 生物多様性保全の重要性	3
	(3) 国内外の動き	4
2	奄美大島生物多様性地域戦略の目的と位置づけ	6
	(1) 戦略の目的・性格	6
	(2) 戦略の位置づけ	6
3	戦略の体系と事業展開の考え方	7

第2章

奄美大島の生物多様性の特徴

1	生物の多様性が高い	14
2	固有種が多く存在する	15
3	奄美大島の特異な気候が生んだ希少な動植物が存在する	17
4	人と自然との関わりの中で培われてきた自然がある	18
5	世界的に重要な生物多様性に富んだ自然がある	19

第3章

奄美大島の生物多様性の保全及び利用上の課題

1	開発や自然の過剰な利用などの人間活動による影響	22
	(1) 生息・生育環境の改変や生物の盗採に起因する課題	22
	(2) 配慮不足の自然利用に起因する課題	22
	(3) 自然の管理方法に起因する課題	22
2	人間活動と自然の関わり方の減少による影響	23
	(1) 里地・里山の機能の劣化に起因する課題	23
3	人為的に持ち込まれた生物や物質による影響	24
	(1) 外来種による影響に起因する課題	24
	(2) 環境汚染による影響に起因する課題	25
4	地球温暖化に伴う環境変化による影響	26
5	人の意識と社会経済の変化による影響	27

第4章

基本的事項と目標

1 基本的事項	30
(1) 対象区域	30
(2) 計画期間	30
(3) 基本理念	30
(4) 基本方針	30
2 目標	31
(1) 短期目標(10年後、2024年(令和6年)の奄美大島の姿)	31
(2) 長期目標(50年後、2064年(令和46年)の奄美大島の姿)	32

第5章

重点施策

【重点施策1】 希少種の保全活動及び生物多様性一般化事業	36
(1) 希少野生動植物保護条例の適正な運用と保全活動の展開	36
(2) 生物多様性モニタリング調査及び情報収集	36
(3) 環境学習拠点の整備及び環境学習の充実	37
(4) 生物多様性保全ネットワークの構築	37
【重点施策2】 ノネコ、ノヤギ及び外来種対策	38
(1) ノネコ対策、ノヤギ対策の事業展開	38
(2) 外来種対策	39
【重点施策3】 奄美大島環境文化・自然再生フィールドミュージアム事業	40
(1) 森林、里海、マングローブ再生モデル事業	41
(2) 自然と人が共生する環境文化の継承活動	42
(3) 奄美大島・環境文化情報拠点整備	42
【重点施策4】 奄美大島・生物多様性自然遊歩道整備事業	43
【重点施策5】 里のエコツアー拠点整備事業	45
【重点施策6】 産業振興と生物多様性推進事業	46
(1) 奄美群島持続的観光マスタープランと体験型観光の推進	46
(2) 6次産業化と生物多様性推進事業	46
【重点施策7】 交流と情報発信	47
(1) 奄美大島自然大使の創設	47
(2) 世界自然遺産登録地域との交流	47
(3) 国際交流の推進	47
(4) 大学、研究者との交流	48
(5) 情報発信	48
【重点施策8】 奄美群島環境文化研究拠点の誘致	49

第6章

行動計画

基本方針1 生物多様性の保全・管理	53
1 重要な地域の保全	53
2 生態系ネットワークの形成	54
3 野生生物の適切な保護と管理	55
(1) 希少種とその生息・生育地の保全	55
(2) 鳥獣の管理	56
(3) 外来種の防除	57
4 地球温暖化対策の推進	58
5 環境影響評価制度の検討	58
6 生物多様性の保全に配慮した環境整備の推進	59
(1) 公共工事等に関する取組	59
(2) 山地・森林における取組	60
(3) 農村における取組	60
(4) 市街地における取組	61
(5) 河川・沿岸・海岸における取組	61
基本方針2 人と自然が共生する社会を構築するための仕組み作りと人材育成	62
1 多様な主体の参画促進	62
2 人と自然が共生する社会を構築するための活動の推進	63
3 人材の育成と活用	64
4 調査研究の推進と情報の収集・発信	65
基本方針3 生物多様性の持続可能な利用	66
1 生物多様性の保全に配慮した暮らしの展開	66
2 生物多様性の保全に配慮した農林水産業の展開	67
(1) 林業における取組	67
(2) 農業における取組	68
(3) 水産業における取組	69
3 里地、里山、里海の適正な利用と管理	70
4 生物多様性の保全に配慮した観光業の展開	71

第7章

推進体制と進行管理

1	戦略の推進体制	74
2	戦略の進行管理	75
	(1) 進捗状況の把握及び公表	75
	(2) 戦略の見直し	75
3	各主体の役割	76
	(1) 奄美大島自然保護協議会・市町村	76
	(2) 事業者	76
	(3) 住民・来訪者	77
	(4) 環境NPOなど各種活動団体	77
	(5) 学識者・研究機関	78
	(6) 教育機関	78

第8章

資料編

1	奄美大島における希少野生動植物の指定状況	80
2	奄美大島で確認されている対策が必要な外来種	81
3	奄美大島の重要湿地	84
4	奄美大島の干潟	85
5	文化財の指定状況	86
6	奄美の民謡(島唄)に現れる自然	87
7	奄美の歴史年表	89
8	奄美大島における主な自然ふれあい関連施設	91
9	奄美大島生物多様性地域戦略 策定から改訂までの経過	92
10	関係者名簿	94
11	関連事業	95

参考資料

奄美大島の概要	8
世界自然遺産登録へ向けた行政等の取組	10
奄美大島に生息・生育する代表的な固有種	16
外来種とは	25
アラセツ行事	27
奄美大島における各種指標の変化	28